



広重版画より 三島 朝霧

第2421回例会

2025.5.22晴

司 会 田代陽介君

ロータリーソング 「日も風も星も」
指揮 森崎祐治君

会長挨拶

会長 鈴木正二君

最近身体の衰えということを深く考えさせられています。見えにくい、聞き取りにくい等機能の劣化、昔だったら何でもなかったことが身体に痛いとか苦しいというダメージを与える、2～3日静かにしていれば治ることが長引く、検診の数値が驚くほど変わる等、昨年から悩みの種になっています。私は1年半前75才の誕生日から激変したと思っています。その半年前(今から2年前)にワクチンを5回やっていたのに1回目のコロナにかかりました。この影響が今出ていると思っています。会長になって昨年のクリスマス会、先日の親睦家族例会をドタキャンしました。弱くなったなと思います。父は最後の2年は寝たきりでしたが、満100才まで生きました。30年前80才時、業界でベトナムへ国の発展に役立つことがないかという視察旅行に参加しました。私が申込書を書いている時、80才の老人がと思わないでください、驚異的に元気ですと付け足しました。帰ってきて、もう少し若かったら定住して汗をかいてみたかったと言いました。その父を超える101才まで生きる目標を持っている私にとって、あと25年をどう生きようかと思索するこの頃です。今の具体的な悩みはゴルフに関する事です。昨年の1月から1回もできていません。上半身の激痛、それが軽快してきたら膝の痛み、今は腰の痛みが追いかけてきました。昨年はそんなに長引くとは思わなかったので、すべてのゴルフの会に年会費を払いました。でも1回もできなかったのです。年度が替わっていろいろの会の会費徴収が来ています。退会か継続するかハムレットの心境です。ゴルフ保険はやれるようになったら掛けるよということで無駄がありませんでした。

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 鈴木和彦さん
(関本(文)君・室伏君のゲスト)
二村繁靖さん
(室伏君・佐野君・千葉君・田代君のゲスト)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	33/46	71.74%	36/46	78.26%
今回	34/50	68.00%	会員総数	52名

欠席者 上野君、川名君、木村君、栗原(康)君、佐野君、杉崎君、須田君、諏訪部(行)君、諏訪部(照)君、千葉君、橋本君、古屋君、前田(房)君、矢野君、渡邊(真)君、和田君

幹事報告

幹事 加藤憲勝君

- 1.本日の例会、卓話は小塚英樹君です。よろしくお願いします。
- 2.昨日、小泉DG杯ゴルフ大会に森藤さん、小塚さん、赤池さんといっしょに参加してきました。入賞はできませんでしたが、伝統あるコースで楽しんで参りました。
- 3.2620地区パストガバナー・甲府南ロータリークラブ第37代会長の井上雅雄様が、5月18日、91歳でご逝去されました。
- 4.次回例会は6月5日(木) 通常例会 呉竹 12:30 卓話は親睦委員長 渡邊真生君です。よろしくお願いします。

卓 話

滋賀県出張

小塚英樹君

皆様、滋賀県観光へ行ったことがありますか？私の勝手なイメージですが、関西方面へ行くなら滋賀県は通り越して、京都、大阪に行く人がほとんどかなと思ひまして、滋賀の方には失礼でしたが、行ってみると良い所も沢山ありそうだったので少し調べたことを交えつつお話ししたいと思います。

先日、3/10～3/29まで滋賀県へ塗装工事に行ってきました。私は現調含め何度か足を運びました。現場は栗東市という所で、琵琶湖の南東側の方(三重県より)ですね。栗東と聞いた時、あまり聞いたことがなかったので調べてみたところ、栗東トレーニングセンターという有名な競走馬の調教所があり、6つのトラック型の調教コース、全長1kmの坂路調教コース、競走馬スイミングプールなど、様々な施設があるようです。また、2000頭を超える競走馬が生活するための厩舎、競走馬診療所、調整ルーム、乗馬苑などの施設を備え、世界に通用する強い馬作りのため、日々運営されているところだそうです。

そして滋賀と言えば琵琶湖でしょう。私も初めて琵琶湖を目の当たりにしましたが、どこを見渡してもひらすら琵琶湖！もう大きいしかありませんでした。日本最大の淡水湖で、面積670平方km、水深最大で、約104mにもなるそうです。貯水量は日本で利用可能な淡水の約1/3に当たる275億tを誇る、関西地方の「巨大な水がめ」として多くの人々の生活を支えている訳ですが、この前、京都市が滋賀県に対して、年間2億3千万ほどの感謝金を払っているというニュースを耳にしました。琵琶湖から琵琶湖疎水言う運河で京都に水を出しているとの事で、そのお礼として支払っているそうです。京都府民は99%琵琶湖の水で生活しているようです。あれだけの大きなダムのようなものがあれば、水不足に悩まされることは無さそうですね。滋賀県民の方は、海水浴ならぬ湖水浴を夏には琵琶湖で楽しんでいるそうです。それと、琵琶湖の至る所で、釣り人を見かけました。朝早くからそこらじゅうに釣り人がいました。おそらくブラックバスなどがメインだと思います。私も子供の頃は近所の池や少し足を伸ばして、菰山の城池という所でよくブラックバスをルアーで釣っていました。

そして、滋賀県民なら誰もが知る常識とされるのが「琵琶湖移動説」というものがあって、北上して将来的には日本海へと達して消失するというのです。とてもそんな話信じられませんが調べてみたところ、滋賀県民の常識「琵琶湖は動いている」は本当か 専門家が指摘する“縮小”する日本最大の湖の姿と「100万年後」の驚きの結末というものを見つけました。そこにはこう記されています。「琵琶湖のルーツは約420万年前、現在の三重県伊賀市付近にできた小さな湖とされます。当時の琵琶湖(古琵琶湖)にはワニがいたなどの研究報告もあり、亜熱帯気候に覆われていたと考えられている。その後、約300万年前に地球の気温が低下していく過程で、日本列島が乗ったユーラシアプレートの下に潜り込む、フィリピン海プレートの運動方向が変化。それまで同プレート

が動く方向は“南からほぼ真北”でしたが、“南から北西”へとズレました。これにより、現在の姿へとつながる琵琶湖の移動が始まったと見られています」

せっかく初めての土地へ来たので1日観光しようと思い、まず、しらひげ神社という所に行ってみました。延命長寿しらひげの神として広く崇敬され、ここは総本宮で、縁結び、商売繁盛などのご利益があるそうです。令和6年7月～令和7年3月まで本殿の、屋根の葺き替え工事が行われており、私が訪れた日は工事看板もまだあったので、葺き替え直後でした。私も建設業に携わる身として少し興味が有り、神社の方が掃除をしている時に質問してみたところ、この屋根は檜皮(ひわだ)葺きと言って、屋根葺き手法の一つで実際山林に行くと皮をめぐって束ねて持ち帰り、ヒノキの樹皮を積み重ねて竹の釘を打って固定しているそうです。1枚1枚重ねていく、かなり手間も費用もかかる技法で、その耐耐久性があり、昔の人はよく考えられたものだと思いました。様々な材質のものがある現代でも、神社などで根強いこの手法で葺き替えられているのは、職人の私からするととても素晴らしいことだと思います。出雲大社、厳島神社、清水寺など、様々な有名なお寺や神社もこの技法で屋根が作られているそうです。50年に1度工事をするようです。

神社の上の方には「岩戸社(いわとしゃ)」という古墳群のようなものがあり、そこに2～3メートルほどの岩がありました。この岩がパワースポットとされているそうです。しらひげ神社から琵琶湖を臨むと、湖内に鳥居があるのですが、その展望台に上ってみたところ「高島ロータリークラブ」「ポリオをなくそう」と看板が掲げられていました。何年か前に寄贈されたようです。全角各地、ロータリークラブが活躍されていることを私も嬉しく思いました。

次に観光で訪れたのが、彦根城です。彦根城は関ヶ原の戦い後、1603年に工事が開始され、1期、2期、3期工事で、1622年にすべての工事が完了しました。城主は、徳川四天王の一人と言われた井伊直政の長男、井伊直継でした。どこのお城もそうですが、なんと言っても立派な石垣、そして琵琶湖と街を一望できる景色は圧巻でした。これを眺めていると普段の疲れや、考え事など吹き飛んでしまうほどでした。私が行ったのが、ちょうど桜が咲いている時期で、城内いたる所に桜が咲いていて、本当に綺麗で最高でした。そして1日に2回、ひこにゃんが外に出てくる時間があり、ちょうど良い時間に巡り合うことが出来、私は意外とミーハーなので興奮して写真バシャバシャ撮っちゃいました。

最後に、工事最終日の翌日に4人で回った琵琶湖レイクサイドゴルフコースの話ですが、琵琶湖と名の付くゴルフコースなので、琵琶湖が一望できると期待しましたが、全く琵琶湖は見えずがっかりでした。昼食も近江牛などのご当地メニューがある訳でもなく、この辺りのゴルフコースと変わらないメニューでした。それでも、平坦なコースで前半45後半42の87の良いスコアで回れました。そのゴルフ場は、ナイターが出来るコースで今回はナイターではありませんでしたが、ナイターコースを回った経験がないので、ぜひ一度回ってみたいと思いました。

以上、私の琵琶湖出張での出来事でした

※紙面の都合で会員慶事・スマイルは次号に掲載します。

(週報担当:前田博利)